

病院概況：りんくう教育研修棟竣工 泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター（サザンウィズ）開設

泉州南部における地域医療の充実には、医療に従事する人材の確保と地域病々・病診連携の強化が喫緊の課題である。りんくう総合医療センターでは次世代を担う医療専門職にとって魅力的な教育研修環境を整備し、りんくう総合医療センターの職員のみならず広く当地域の医療従事者が集い学べる場として、病院の隣地に「りんくう教育研修棟」をPFIにより建設した。

「りんくう教育研修棟」は3階建てで、3階部分は会議スペースとなっており、最大315人収容可能な大会議室を有している。またその大会議室をパーティションで仕切ることにより、70名から90名収容可能な会議室3室としても利用できる。その他、30席の特別会議室もあり、少人数のミーティングから、各種会議や研究会、さらには、地域医療従事者や住民を集めた講演会なども企画できる。

2階部分は、「泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター」として、初期・後期研修医から卒後10年目程度の若手医師をはじめ、泉州南部地域の医療を支える医療従事者の育成を目指す。臨床技能の習得ならびにチーム医療の充実を図る教育プログラムを開発・運営し、シミュレーション機器等を利用した幅広い研修機能を提供する。

「泉州南部地域の医療従事者が集い学ぶ場」という意味を込めて、「泉州南部卒後臨床シミュレーションセンター」を通称「サザンウィズ」と呼ぶことにした。サザンウィズには、「地域医療再生基金」を活用して、各種の高性能なシミュレーション機器が配備されている。我々は、これらのシミュレーション機器を有効活用して、地域で活躍する医療従事者の育成を図っていきたい。

1階部分は、事務室と研修に来られた方々が気軽に語り合える研修交流室になっている。

2015年2月1日、りんくう教育研修棟を無事竣工することができ、教育研修棟オープン式典とサザンウィズ内覧会を執り行った。関係大学をはじめ地域の医療機関の方々に多数出席していただき、この場を借りて感謝申しあげる。

サザンウィズ運営のスローガンを「多職種が共に学び、教え合い、共に育つ『共育』」とした。我々は教育を通じて個々の能力のみならず、チーム医療の向上を目指す。さらにサザンウィズをはじめりんくう教育研修棟を広く地域に開放し、泉州南部地域全体の医療水準の向上と地域連携の強化に寄与したいと思っている。

